

『税金』—人生を彩るプレゼント—

福岡市立原北中学校

西井 智央

ステージの上で披露する緊張感と喜び—。

それを感じることができたのは、「税金」の支えがあったからでした。

税金は、私たちの生活を支えるのはもちろん、私たちの生活に彩りを加える役割もあります。その使い道の一つとして挙げられるのが、私たちの生活をより豊かにするための公共施設です。

公共施設とは、国や地方公共団体が、国民の幸福や安全のためにつくり、維持している施設のことです。例えば、図書館や博物館、市民ホールなどがあります。これらには税金が使われているため、私たちは、安い値段、もしくは無料で利用することができます。そして、税金で支えられている公共施設は、私たちに様々なものを与えてくれます。

一つ目は、「経験」です。私は、小さい頃から習っているバレエの発表会や、放送部の大会、英語のスピーチコンテストなど、ステージの上で披露する、という貴重な経験をたくさんすることができました。また、中学校の合唱コンクールも、市民ホールで行われました。それは、市民ホールなどのステージが税金に支えられていて、低価格で利用することができたからです。

二つ目は、「出会い」です。私は小学校六年生の頃、公民館の図書館に毎週通っていました。最初は本を借りるために行っていましたが、そこで会える友達やボランティアの方々とお話することが楽しみになっていました。公共施設が、新たな人との「出会い」を与えてくれたのです。

三つ目は、「学び」です。私は小学校低学年のとき、よく母と図書館や博物館に行っていました。当時歴史が大好きだった私は、毎週のように博物館に行き、歴史に直に触れ、たくさんのことを学びました。また、読書も大好きだった私は、毎週何冊もの本を借りていました。今の私が本好きなのは、図書館のおかげです。税金は、様々な学びを私たちにとって身近なものにしてくれているのです。

今回、税金について身近な視点から考えてみることで、税金のありがたさ、必要性を実感することができました。税金の支えがあったからこそ、私のこれまでの人生はより豊かなものになりました。みなさんもきっと、知らず知らずのうちに、税金や公共施設などから与えてもらったものがあるはずです。それは、税金からの「プレゼント」ではないでしょうか。税金を納めることで、子供に豊かな成長をもたらすことはもちろん、お年寄りまで、すべての人に、より充実した、幸せな生活をプレゼントすることができます。私自身は現在、消費税しか納めていませんが、今回税金を納める重要性について考えることができたので、明確な意識をもって納税をしていこうという気持ちになりました。

すべての人の人生を彩る「プレゼント」を贈るために—。